平成28年度

佐久市社会福祉協議会事業報告書

佐久市社会福祉協議会
イメージキャラクター
さーくちゃん

平成 28 年度佐久市社会福祉協議会事業総括

本年は、国の社会福祉制度改革による、改正社会福祉法が平成 29 年 4 月 1 日施行するのに対応するため、「ガバナンスの強化」「財務規律の強化」「公益的責務」「内部留保の明確化」、定款をはじめ各種規程の改定手続きを行い、準備を進めて参りました。

さらに、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるための医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保された体制の構築が近い将来の課題となっている中で、社会福祉協議会が果たす役割が大きくなっていることを踏まえ、第 2 次佐久市地域福祉活動計画の基本理念であります、「人と人とがつながり　支え合う地域づくり」を目指し、「みんなで支え合う人づくり」「安心・安全に暮らせる社会づくり」「心とからだの健康（生きがい）づくり」を目標とし、新規 5 事業「パパ・ママ応援事業」「バリアフリーマップ作成」「認知症徘徊ＳＯＳ模擬訓練実施」「高齢者緊急連絡票作成配布」「成年後見支援センター運営事業」を実施し、さらに、重点事業として、社協ホームページの更新、ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」「ふれあいいきいきサロン事業」にも取り組みました。

また、介護保険事業、障害福祉サービス事業についても、利用者へのサービス向上を目指し、事業推進に努めました。

１、会務の状況

【理事会】

回　数	開　催　日	提出議案数及び可否状況	出席理事	備　考
第 1 回	平成 28 年 5 月 26 日（木）	専決報告 2 件　　承　認 4 議案　　全議案議決	10 名	
第 2 回	平成 28 年 11 月 11 日（金）	1 議案　　〃	10 名	
第 3 回	平成 28 年 11 月 29 日（火）	9 議案　　〃	8 名	
第 4 回	平成 29 年 1 月 20 日（金）	8 議案　　〃	9 名	
第 5 回	平成 29 年 3 月 22 日（水）	10 議案　　〃	11 名	

※ 理事会のみ提出する議案があったため、理事会、評議員会の議案数は相違します。

【評議員会】

回　数	開　催　日	提出議案数及び可否状況	出席評議員	備　考
第 1 回	平成 28 年 5 月 26 日（木）	専決報告 2 件　　承　認 4 議案　　全議案議決	17 名	
第 2 回	平成 28 年 11 月 11 日（金）	1 議案　　〃	17 名	
第 3 回	平成 28 年 11 月 29 日（火）	7 議案　　〃	14 名	
第 4 回	平成 29 年 1 月 20 日（金）	6 議案　　〃	17 名	
第 5 回	平成 29 年 3 月 22 日（水）	10 議案　　〃	16 名	

【監　査】

	開　催　日	監査内容
決　算	平成 28 年 5 月 26 日（木）	平成 27 年度事業執行並びに財産状況について
中　間	平成 28 年 11 月 8 日（火）	平成 28 年度 4 月～9 月（前期） 事業執行並びに財産状況について

【評議員選任・解任委員会】

回　数	開　催　日	協議事項	出席委員	備　考
第 1 回	平成 29 年 2 月 14 日（火）	正副委員長選出 議事録署名人の指名 新評議員の決定	4 名	

＊社会福祉法の改正に併せて、新しく設置した委員会。（定員 5 名）

平成２８年度　新規・重点実施事業

２、新 規 事 業

(1) パパ・ママ応援事業

育児ストレスの解消を図り、情報交換仲間づくり、世代間交流等のきっかけを提供するため、パパ講座・ママ講座を開催しました。
（事業実施報告書　9ページ　事業№18）

パパ講座の
燻製づくりの
様子

(2) バリアフリーマップの作成

障がい者等の外出の機会が多く持てるように市内の公共施設や民間の商業施設のバリアフリー情報をマップに表し、ＨＰに掲載しました。
（事業実施報告書　8ページ　事業№16）

(3) 成年後見支援センター運営事業

佐久広域連合より業務を受託し、福祉課に成年後見支援センターを設置し、業務執行を行いました。
（事業実施報告書　13ページ　事業№46）

（4）認知症徘徊ＳＯＳ模擬訓練実施

認知症による徘徊行動に対し、地域で見守る体制作りを進めるため、モデル地区（新子田区）にて実施しました。

（事業実施報告書　10ページ　事業№25）

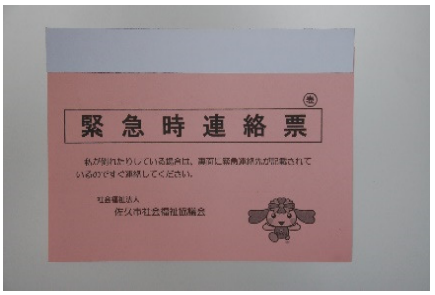
にこやかに、正面から話しかけてくれます

「（区内放送）黄色のジャンパー、黒いズボン、カーキー色の帽子、傘を持っています。」
放送された行方不明の方かな？

（5）高齢者緊急連絡票作成配布事業

市内の1人暮らし高齢者を対象に、緊急時に関係者及び各関係機関へ早期に連絡をつなげるための連絡票を作成し、民生児童委員にお願いをして配布しました。

（事業実施報告書　10ページ　事業№26）



３、重 点 事 業

社協ホームページの更新

社協事業等の啓発宣伝並びに新規事業であるバリアフリーマップの情報の掲載や最新情報の更新を随時可能な様式に改めました。

（事業実施報告書　7ページ　事業№10）

ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」

介護支援員、育児支援員の養成と確保を行い、事業の充実を図りました。

（事業実施報告書　9ページ　事業№18　）

ふれあいいきいきサロン事業（サロン世話人交流会）

ふれあいいきいきサロン実施地区の拡大とサロン世話人交流会の充実を図り、新規地区の立ち上げができました。

（事業実施報告書　9ページ　事業№19）

地域福祉拠点区分（共同募金サービス区分）		
収入　21,278,370円　　支出　21,278,370円　　収支差額　0円		
事業No.	事業名	事業概要・報告
5	敬老訪問祝い事業 〔福祉課〕	長寿者に対する記念品の贈呈。 ・100歳達成者:37名(祝品と祝金5,000円) ・101歳以上:116名(祝品) ・88歳:746名(祝品)
	収入　2,153,809円	支出　2,153,809円　　収支差額　0円
6	敬老会助成事業 〔総務課〕	地域活動を支える組織の活性化を図るため、各地区で開催している敬老会への助成。70歳以上の高齢者に対して一人600円（市300円＋社協300円）の助成金を交付。 申請対象者数:20,011人　　助成金額:12,006,600円
	収入　12,032,356円	支出　12,032,356円　　収支差額　0円
7	Let’ｓチャレンジ！ボランティアの開催 〔福祉課〕	小学生から大学生を対象に、ボランティア体験事業の推進。専門学校生を含む延30名が参加。内14名が2回参加し修了書を受け取った。 開催日：8月6日(土)・9月10日(土) 内容：①ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ体験 ②ｳｫｰｸﾗﾘｰで福祉を学ぼう
	収入　29,231円	支出　29,231円　　収支差額　0円
8	社会福祉普及校指定事業の実施 〔福祉課〕	小・中・高校生等を対象に児童、生徒が福祉への関心を高めることを目的とした事業を展開し、福祉活動に積極的に取り組む学校に助成。 6月16日市内全校を対象に、事業説明会を開催。 平成28年度実績は22校(小学校:13校中学校:2校高校:4校大学・専門学校:3校)に助成を行う。
	収入　678,306円	支出　678,306円　　収支差額　0円
9	佐久市社会福祉大会の開催 〔総務課〕	地域福祉課題を取り上げ、解決にはどのように具体的な実践をすべきか、研修、式典、実践発表、講演等を内容とした大会の実施。 開催日：10月27日（木）会場：佐久平交流センター　参加者：383名 内容：表彰式・実践発表・記念講演 ※実践発表；かるがも親子の会代表者による活動について発表 ※記念講演；講師：鈴木ひろみ氏による「絶望のどん底から這い上がるまでの軌跡　車椅子からの出発」
	収入　268,246円	支出　268,246円　　収支差額　0円
10	社協ホームページ活用 〔総務課〕	社協事業の啓発のため、ホームページの充実を図る。新システムにすることにより、編集機能が大幅に向上した。今後も見やすいページ作りをするとともに、アクセス数を伸ばせるような活動をしていく。
	社協報広報「ぴーぷる」の発行 〔総務課〕	社協事業を広く市民に理解いただくために、社協広報「ぴーぷる」の発行。 奇数月6回発行　1回の配付部数35,100部（各戸配布） 紙の門松を12月に各戸へ配布
	収入　2,122,251円	支出　2,122,251円　　収支差額　0円
11	心配ごと相談所の開設 〔福祉課〕	市民の抱える心配ごとの相談事業。（相談員12名） 月１回の開催　相談件数:14件　相談者:男性3名 女性11名 内容:生計、家族、離婚、財産等 ＊弁護士・司法書士への相談はなかった。 会場は臼田・浅科・望月社協各支所と福祉総合センター。
	収入　173,786円	支出　173,786円　　収支差額　0円

12	結婚相談所の開設及び事業の充実 〔福祉課〕	出会いの機会が少ない結婚を希望する男女に、出会いの場を提供。 月2回日曜日に開催し、相談員6名体制で対応 延相談件数:249件(男性172件 女性77件) 見合い件数:27件　成婚２組 ＊結婚相談員研修:長野県結婚支援担当者研修会に相談員６名と担当職員が出席。 市実行委員会へ協力。
	結婚イベントの開催 〔福祉課〕	出会いの機会の拡大のため、婚活イベントを実施する（参加者のフォローを相談員が行う。） ①出逢いﾊﾟｰﾃｨｰ「ここから始まる素敵な出逢い」 男女各25名　2/4(土) 内容:ｸﾞﾙｰﾌﾟﾄｰｸ、ﾌﾘｰﾄｰｸ、連絡先交換ﾀｲﾑ等　　＊ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ:6組 ②ここから始まる素敵な出逢い"Teaﾊﾟｰﾃｨｰ" 男女各12名　3/25(土) 内容:ﾌﾘｰﾄｰｸ、連絡交換ﾀｲﾑ等　　＊ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ:3組
	収入　899,687円	支出　899,687円　　収支差額　0円
13	福祉団体助成事業 〔福祉課〕	各種福祉団体に助成金を交付し、活動を支援。 〈助成団体(16)〉 民生児童委員協議会、老人ｸﾗﾌﾞ連合会、赤十字奉仕団、戦没者遺族会、保護司会、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ育成会、精神障がい者家族会、更生保護女性会、聴覚障害者協会、手話ｻｰｸﾙ、保育協会、保育園保護者連合会、食生活改善推進協議会、肢体不自由児(者)父母の会
	福祉団体の育成並びに助成、活動の支援 〔福祉課〕	福祉団体の事務を取り扱う。各種福祉団体に助成金を交付し、活動支援。 〈助成団体内訳〉 住民全般:7団体(883,000円)　　高齢者:1団体(318,000円) 障害者・児:6団体(592,000円)　　児童・青少年:2団体(39,000円)
	収入　2,063,078円	支出　2,063,078円　　収支差額　0円
14	希望の旅事業の実施 〔福祉課〕	在宅の心身障がい者とその家族に社会交流の場を提供し、生きがいを高めるために実施。 開催日:6月23日(木)　　場所:上越市立水族博物館、ﾏﾘﾝﾄﾞｰﾑ能生 参加者:61名　(障がい者43名、介助者13名、看護師1名、職員4名)
	収入　479,783円	支出　479,783円　　収支差額　0円
15	福祉体験教室 〔福祉課〕	小・中・高校生等を対象に、障がい者の講話や車いす、手話、点字体験等を行う福祉体験教室を開催し、障がい者への理解を深める福祉学習。 体験教室開催校:17校(小学校:8校中学校:6校高校:2校専門学校:1校)で延45回。企業1社で1回。 内容:車いす・ｱｲﾏｽｸ体験、点字、手話、救急法、障がい者ｽﾎﾟｰﾂ体験、昔遊び
	収入　86,777円	支出　86,777円　　収支差額　0円
16	＊新規事業 「バリアフリーマップ」の作成 〔福祉課〕	外出する機会の少ない障がいを持つ人も、安心して外出できる「福祉のまちづくり」の一環として、公共施設や商業施設等のﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化情報を提供。 社協ホームページにバリアフリー情報の掲載募集をおこない、５９の公共施設・事業所の情報を掲載。 社協オリジナルの"ピクトグラム(図記号)"を活用し、検索しやすいように色分けしてある。また、ﾊﾟｿｺﾝだけでなくｽﾏｰﾄﾌｫﾝや携帯電話からも検索できる。
	収入　291,060円	支出　291,060円　　収支差額　0円

地域福祉拠点区分（地域福祉サービス区分）		
収入　6,107,882円　　支出　6,107,882円　　収支差額　0円		
事業No.	事業名	事業概要・報告
17	ボランティアセンター機能の充実 〔福祉課〕	社協本所並びに各支所にボランティアセンターを設置、ボランティアコーディネーターを配置することによるセンター機能の充実 ふれあいいきいきサロン等アウトリーチで収集した情報や住民のニーズに沿ったボランティアの養成講座、研修会等を開催
	佐久ふれあい広場の開催 〔福祉課〕	障がいの有無、老若男女を問わず、みんなが集い、ともに「出会い・ふれあい・語り合い」の場の提供を目的に佐久ふれあい広場を開催。 開催日:10月23日(日)　　会場:野沢会館 実行委員50名。　来場者:1,050人。 内容:ふれあいｽﾃｰｼﾞ、体験ｺｰﾅｰ、施設利用者作品展示、ﾊﾞｻﾞｰ、福祉施設作品販売、模擬店　等
	収入　2,370,274円　　支出　2,370,274円　　収支差額　0円	
18	ファミリーサポート“助っ人”養成講座 〔福祉課〕	ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄ事業がスムーズにおこなえるように、介護及び育児支援ができるｻﾎﾟｰﾀｰの養成・登録。 ・育児助っ人養成講座:5/30、6/6～17、6/27。 参加者23名(内新規登録者12名)講義に加え実習を行う。 ・介護助っ人養成講座:10/26、11/9。 参加者18名(内新規登録者　13名)活動者の実践発表を行った。
	ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」 〔福祉課〕	育児支援は、子育て中の家族等を対象に、冠婚葬祭や病気治療のための通院の際の一時預かり等。介護支援は、介護を必要とする家族や本人の家事援助等の支援。有償で行い、社協は仲介をおこなう。 登録支援会員:育児29名 介護53名　両方31名 実活動支援会員:育児18名　　介護46名 利用者:育児20名 介護56名　延利用時間:育児516.5時間　介護893時間
	＊新規事業 パパ・ママ応援事業 〔福祉課〕	育児ストレスの解消を図り、情報交換・仲間づくり・世代間交流等のきっかけを提供。 「パパ講座」「ママ講座」それぞれの内容で開催する。(託児所を設置)・ パパ講座:6/25(子供の写真を撮ろう)　7/9(燻製作りに挑戦) 延参加者20名 ママ講座:12/18（三浦由香氏講演会）　　参加者20名
	収入　87,269円　　支出　87,269円　　収支差額　0円	
19	ふれあいいきいきサロン事業 〔福祉課〕	地区集会施設等を利用して、高齢者の閉じこもり予防、認知症予防を目的に、区単位でサロン（お茶飲み会）を開催する。行政及び地域包括支援ｾﾝﾀｰ等と連携を図り、未開催地区の立ち上げを図り市内全地区で開催を目指す。 〈実施地区〉 ・佐久 87地区 延参加者:8,109名 (浅間24、中込26、野沢25、東12　新規3地区) ・臼田 24地区　延参加者:1,970名　　・浅科 8地区　延参加者:1,421名 ・望月 28地区　延参加者:1,496名 ・内容:体操、講話、物作り、歌、お茶会、世代間交流等
	ふれあいいきいきサロン世話人交流会事業 〔福祉課〕	ふれあいいきいきサロンの世話人の資質向上と世話人同士の情報交換、交流のため、研修会を開催。 ①全市対象:9月16日(金)　場所：野沢会館　　参加者70名。 内容:ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ講習 ②各支所で開催(佐久:2/14臼田3/2浅科2/10望月2/17) 内容:情報交換・事例報告・体操・お手玉等
	収入　1,549,246円　　支出　1,549,246円　　収支差額　0円	

20	シニアの“力”アップ講座開催 〔福祉課〕	退職して地域に暮らしている、元気で知識と経験が豊富なシニア世代の男性が、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動や地域活動に積極的に参加するきっかけづくり 開催日：11月30日、12月13日、平成29年1月26日 会場：野沢会館、老人ｾﾝﾀｰ長寿閣　　延参加者：40名 内容：健康長寿に向けた身体づくり、調理実習、地域の皆さんとの関わり方等　ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ登録者：6名
	収入　18,868円　　支出　18,868円　　収支差額　0円	
21	安心コール事業 〔福祉課〕	ひとり暮らし高齢者等に、電話による声かけ・話し相手による孤独感の解消や安否確認 実施日数：279日　対象者：161名　　延ｺｰﾙ回数：4,605回 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ：36名
	収入　307,628円　　支出　307,628円　　収支差額　0円	
22	お元気レター事業 〔福祉課〕	ひとり暮らしの高齢者等に絵手紙を送付し、配達を兼ねて郵便事業会社の職員が声による安否確認と孤独感の解消。 登録者：782名　　延利用者数：2,400名　　ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ：72名
	収入　269,629円　　支出　269,629円　　収支差額　0円	
23	災害ボランティア養成講座の開催 〔福祉課〕	防災に係る意識や心構えの習得と防災力を高める。 開催日：8月28日（日）　会場：野沢会館　　参加者：15名 内容：災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰの設置・運営の疑似体験
	収入　10,193円　　支出　10,193円　　収支差額　0円	
24	地区社協活動の支援並びに助成 〔福祉課〕	地域福祉活動を支援し、ともに支え合う地域づくりのため、市内7地区に地区社協を設置。地区社協の構成員は、区長、民生児童委員、公民館長、日赤奉仕団、保健補導員等。 〈主な活動〉・一人暮し高齢者お楽しみ会、研修会（講演会）、先進地視察研修、敬老会補助等 活動費交付基準　事業割：40,000円　　世帯割：30円/戸
	収入　1,325,674円　　支出　1,325,674円　　収支差額　0円	
25	＊新規事業 認知症徘徊SOS模擬訓練の実施 〔福祉課〕	認知症による徘徊行動に対し、地域で見守る体制づくりを進めるため、モデル地区を設けて「認知症についての学習」「模擬訓練」を実施。 開催日：12月4日（日）午前10時～正午　・開催地区：新子田区 ・内容：区長、民生児童委員、消防団、日赤奉仕団、行政、包括支援ｾﾝﾀｰ等の協力をいただき、認知症徘徊役4名が地区内を徘徊する中で、地域住民は、声かけ方法や安全確保について学んだ。
	収入　13,094円　　支出　13,094円　　収支差額　0円	
26	＊新規事業 高齢者緊急連絡票の作成と配布 〔総務課〕	市内の一人暮らし高齢者を対象に、緊急時に関係者及び関係機関へ早期に連絡するための連絡表を配付し、冷蔵庫の扉表面の見やすい位置に、マグネットで貼り付ける。 平成28年度新規事業として実施し、平成31年度までは新規該当者を対象として今後も継続事業予定。 H28年度配布人数　3,800人
	収入　114,523円　　支出　114,523円　　収支差額　0円	
27	第二次地域福祉活動計画の評価 〔福祉課〕	第二次地域福祉活動計画の進行管理と評価について分析し、社協広報やﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞで公表。 佐久市地域福祉活動計画評価部会 開催日：6月14日（火）午前9時30分～正午 部員15名（任期：平成27年7月1日～平成29年6月30日）
	収入　41,484円　　支出　41,484円　　収支差額　0円	

28	ボランティアの育成 〔福祉課〕	ボランティアの相談・斡旋・登録等を行うとともに、ボランティアの育成。また、ボランティア保険の手続きを行う。 多くの市民に、ボランティア活動に理解を持っていただき、講座終了後にはボランティア登録を呼びかけ継続的な活動につなげた。 (ファミリーサポート養成講座、安心コールボランティア、災害ボランティア講座、シニアの”力”アップ講座等) ＊各種講座の内容は別記
29	各区との連携 〔福祉課〕	要援助者を日常的に支えられるように、区長会を通じ各区長と連携を図り、誰もが安心･安全に暮らせる社会づくり。区長会に出席し、社協事業について説明し理解と協力を仰いだ。
30	赤十字奉仕団との連携 〔福祉課〕	赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくための地域社会で奉仕活動。災害時に備え、行政や自治会等と連携した防災啓発プログラム等の研修に取り組んだ。また、佐久市総合防災訓練(長野県総合防災訓練と兼ねる)に参加し、防災意識の高揚を図った。
31	老人クラブ活動の支援 〔福祉課〕	魅力ある活動と広報活動を強化し、社会貢献活動を通して生きがいづくり、健康づくり活動。 老人クラブ加入数：64ｸﾞﾙｰﾌﾟ　会員4,500人 ＊年々減少傾向にあるが、支援の必要なｸﾞﾙｰﾌﾟには支援を行った。
32	子育てグループ活動の支援 〔福祉課〕	４グループが佐久市福祉総合センターを利用している。今後も利用いただき、新たに使用希望団体については受け付ける。 毎週利用:１団体　月２回利用:２団体　不定期利用:１団体 ｸﾞﾙｰﾌﾟ間の情報交換が図られている。佐久ふれあい広場への参加につながっている。
33	PTA連合会･保育協会等との連携 〔福祉課〕	子育て支援は社協の大きな事業であり、各団体と連携を図り子育て支援事業を推進。平成28年度は、育児助っ人養成講座の実習生受入れをお願いした。 受入れ先：10保育園　実習生:20名
34	民生児童委員協議会活動との連携 〔福祉課〕	社協事業に支援･協力をいただきながら、地域住民に関する情報交換･問題の早期発見、早期対応を図るための連携。ふれあいいきいきサロン開催や子育て･高齢者関係の事業に関する情報交換や個別ｹｰｽの安否確認情報等の連携を図っている。
35	地域包括支援センターとの連携 〔福祉課〕	地域で生活する高齢者に関する情報の共有と、適切な対応に向けた連携体制の強化。市内全域で「ふれあいいきいきサロン」が立ち上がるよう、情報の共有を図るとともに、地域福祉推進に向け連携を図った。 地域包括支援ｾﾝﾀｰ数:５事業所
36	災害ボランティアセンターの設置 〔福祉課〕	甚大な被害が発生した際の、住民ボランティア並びに各地より訪れるボランティアの受け入れや関係機関との連絡調整の窓口として「災害ボランティアセンター」を設置する。 9月2日(日)長野県総合防災訓練が佐久市で開催されたのに合わせ、「災害ボランティアセンター受付訓練」を行った。 災害ボランティア登録者9名が参加。
37	災害時住民支え合いマップの作成協力 〔福祉課〕	災害時等に要援護者の避難誘導を迅速に行うため、福祉マップを作成。また、福祉マップ作成の過程における福祉ネットワークづくり。(市との協働事業) すでに作成済みの地区においては、定期的な見直しが図れるよう、市福祉課と連携を図った。

地域福祉拠点区分		
事業No.	事業名	事業概要・報告
38	生活福祉資金貸付事業 〔福祉課〕 ＜県社協受託事業＞	長野県社協の委託を受けて、所得の少ない世帯や障がい者・高齢者世帯などに対し、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図り安定した生活に向けて資金の貸し付け、及び償還指導。（貸付の審査は県社協が行う） 〈貸付内訳〉 ・福祉費（住宅転居費）3件：836,000円　・教育支援資金1件：450,000円 ・福祉費（緊急小口資金）1件：10,000円 ・要保護世帯向け不動産担保型福祉資金1件：月107,000円
	収入　2,316,800円　支出　2,337,484円　収支差額　△20,684円	
39	日常生活自立支援事業 〔福祉課〕 ＜県社協受託事業＞	長野県社協の委託を受けて基幹的社協として、佐久市・南佐久管内を管轄し、判断能力に不安がある認知症高齢者・障がい者に対して、福祉ｻｰﾋﾞｽの利用援助や日常的な金銭管理等を支援。 契約件数：認知症高齢者25件　知的障がい者16件　精神障がい者23件　その他4件　計68件 相談件数：1,740件　延活動回数：1,012回 生活支援員：16名
	収入　2,236,477円　支出　2,621,194円　収支差額　△384,717円	
40	家庭介護者支援交流事業 〔介護サービス課〕 ＜市受託事業＞	要介護者を在宅で介護している方を対象に、心身の休養並びに介護相談や援助と、介護者相互の交流。 実施回数　5回　参加人数　63人 給食費、講師謝金、消耗品費等へ充当
	収入　204,200円　支出　225,928円　収支差額　△21,728円	
41	福祉バス運行事業 〔福祉課〕 ＜市受託事業＞	交通手段の確保が困難な、馬坂・広川原地区の高齢者を対象に、毎月1回市等の行政機関の手続き、健康診断、買い物等生活活動と両地区の交流推進を目的に福祉バスを運行。利用者は減少傾向にあるが、行政機関の手続き、健康診断、買い物等生活活動と両地区の交流が図られた。 運行回数：9回　延利用者：25名
	収入　80,762円　支出　81,762円　収支差額　△1,000円	
42	地域福祉ネットワーク事業 〔福祉課〕 〈市受託事業〉	住民が自ら地域の福祉問題に気づき、自主的に取組むための福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ活動（常に見守り、声かけができる地域づくり）を区単位で実施。 実施地区：５地区（根々井塚原区、丸山区、十日町区、新田区、比田井区） 補助金：均等割り（定額）5,000円+（世帯割）100円/世帯
	収入　76,313円　支出　185,908円　収支差額　△109,595円	
43	シルバークッキングスクール事業の実施 〔福祉課〕 ＜市受託事業＞	60歳以上の男性を対象に、栄養士の指導のもと、仲間づくりや一人暮らしになっても困らない事を目的に、身近にある食材を使ったバランスのとれた調理実習を毎月１回実施。 ・受講者：43名（臼田20名　浅科23名） ・延参加者：423名（臼田210名　浅科213名） ・延ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ：53名（臼田0名　浅科53名）
	収入　451,107円　支出　473,629円　収支差額　△22,522円	
44	高齢者等給食サービス事業 〔福祉課〕 ＜市受託事業＞	ひとり暮らし高齢者等へお弁当を配達し、安否確認や健康状態の把握、孤独感の解消。 利用料　1食100円　利用実人数：1,300名　実施回数：68回 延配食数：4,491食 調理：JA女性会、調理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　配達：民生児童委員、配達ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等
	収入　2,439,489円　支出　2,520,372円　収支差額　△80,883円	

<table>
<tr><td rowspan="2">45</td><td>介護予防通所型事業
（通所型サービスA）
〔介護サービス課〕</td><td>生活機能や歩行能力等の低下が見られる高齢者に対して、日常動作訓練やリハビリ、栄養指導など、個人にあった介護予防指導を行う
〇１日サロン参加者数　1723人
サングリモ　1523人　臼田老人ｾﾝﾀｰ　200人
〇脳トレ参加者数　　734人
サングリモ　370人　　臼田老人ｾﾝﾀｰ　159人　望月 205人</td></tr>
<tr><td colspan="2">収入　11,698,575円　　支出　14,074,783円　　収支差額　△2,376,208円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">46</td><td>さく成年後見支援センターの運営
〔福祉課〕
＜広域連合受託事業＞</td><td>平成27年度まで佐久広域連合で所管していた、成年後見支援事業を社協が業務を受託し、さく成年後見支援センターを設置。福祉サービスの適切な利用の促進、支援体制の充実を図るため、法人後見を実施。
・相談支援状況 新規150件
継続289件　計439件
・専門職ケース検討会議　開催1回
・佐久広域圏高齢者障がい者権
利擁護ミーティング会議開催4回
・成年後見制度普及及び啓発研修会
①職員向合同研修 対象62名参加
②市民対象研修　194名参加
・普及啓発 出前講座等　延べ11回
・法人後見受任審査会　委員7名
審査会開催回数　4回
法人後見：受任者6人（小諸市1　佐久市4　南牧村1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">収入　8,541,720円　　支出　8,541,720円　　収支差額　0円</td></tr>
</table>

介護保険・障害支援拠点区分			
収入　341,182,981円　支出　350,836,668円　収支差額　△9,653,687円			
事業No.	事業名	事業概要・報告	
47	指定居宅介護支援事業 ・ケアプランセンターさく 〔介護サービス課〕	要介護者等に対し、介護保険から給付されるサービス等を適切に利用できるように、要介護者等の依頼を受けて介護サービス計画の作成等。	利用者延人数　2016人 事業対象者(総合事業)　24人 要支援1　44人　要支援2　96人 要介護1　667人　要介護2　510人 要介護3　382人　要介護4　194人 要介護5　99人
	収入　29,640,460円　支出　24,185,636円　収支差額　5,454,994円		
48	指定訪問介護事業 ・ヘルパーステーションさく ・ヘルパーステーションうすだ 〔介護サービス課〕	要介護者等に対し、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる介護。	○ヘルパーステーションさく 利用者延人数　598人 事業対象者(総合事業)　85人 要支援1　21人　要支援2　142人 要介護1　135人　要介護2　98人 要介護3　26人　要介護4　28人 要介護5　63人 ○ヘルパーステーションうすだ 利用者延人数　329人 事業対象者(総合事業)　0人 要支援1　30人　要支援2　12人 要介護1　63人　要介護2　93人 要介護3　39人　要介護4　35人 要介護5　57人
	在宅福祉サービス事業 (有償移送サービス事業) 〔介護サービス課〕	介護を必要とする高齢者や障がい者など、公共交通機関を使用して移動することが困難な方に対し、通院・通所・レジャーなどにかかる送迎を有償で実施。	利用者数　１人 利用回数　１１２回/年 利用者には代替え措置を講じ、 平成２８年度をもって事業を廃止
	在宅福祉サービス事業 (馬坂・広川原地域介護支援事業) 〔介護サービス課〕	遠隔地にある、馬坂・広川原地域の援助を必要とする高齢者等へ、家事援助や人間関係構築のための支援、軽易な日常生活の支援のため、ヘルパーを派遣。	利用者　１人(広川原地区) 利用回数　２８回/年 月３回から５回派遣 ４月から１０月までの間実施 (利用者死亡)
	さく　収入　24,455,864円　支出　31,377,056円　収支差額　△6,921,192円		
	うすだ　収入　15,309,548円　支出　23,239,056円　収支差額　△7,929,508円		

<table>
<tr><td rowspan="5">49</td><td>指定通所介護事業
・佐久市前山デイサービスセンター
・佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター
・佐久市浅科デイサービスセンター
〔介護サービス課〕</td><td>高齢者の要介護状態の軽減、若しくは機能低下の防止に資するよう、必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減。</td><td>○前山ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ
一般型利用者延人数 4534人
事業対象者(総合事業) 80人
要支援1 33人 要支援2 67人
要介護1 1942人 要介護2 914人
要介護3 542人 要介護4 451人
要介護5 505人
認知型利用者延人数 565人
○あいとぴあ臼田ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ
利用者延人数 7982人
事業対象者(総合事業) 228人
要支援1 287人 要支援2 695人
要介護1 2795人 要介護2 2410人
要介護3 701人 要介護4 513人
要介護5 353人
認知型利用者延人数 1866人
○浅科ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ
利用者延人数 6164人
事業対象者(総合事業) 142人
要支援1 328人 要支援2 914人
要介護1 2137人 要介護2 1725人
要介護3 457人 要介護4 217人
要介護5 244人</td></tr>
<tr><td>あいとぴあ臼田短期入所事業
〔介護サービス課〕</td><td>介護者が出産・疾病・冠婚葬祭などにより、一時的に日常生活が困難となった高齢者を、短期間入所し、在宅の高齢者及びその家族の福祉の向上支援。</td><td>対象者 虚弱高齢者・要支援者
ベット数 5床
利用日数 62日
利用者数 13人</td></tr>
<tr><td colspan="3">前山 収入 47,696,020円 支出 45,673,891円 収支差額 2,022,129円</td></tr>
<tr><td colspan="3">臼田 収入 82,654,714円 支出 81,127,768円 収支差額 1,526,946円</td></tr>
<tr><td colspan="3">浅科 収入 45,506,350円 支出 47,205,243円 収支差額 △1,698,893円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">50</td><td>特定相談支援事業
〔介護サービス課〕</td><td>障がいのある方が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、生活相談支援計画の作成、関係機関との連絡調整。</td><td>利用者数 87人(男52人 女35人)
うち在宅 84人
うち施設通所 48人
ｸﾞﾙｰﾌﾟホーム 3人</td></tr>
<tr><td colspan="3">収入 12,529,618円 支出 12,529,618円 収支差額 △0円</td></tr>
<tr><td rowspan="3">51</td><td>障がい福祉サービス事業(佐久・臼田)
〔介護サービス課〕</td><td>障がいのある方へ、居宅において入浴・食事等日常生活を営むのに必要な介護のために介護員を派遣。</td><td>○ヘルパーステーションさく
利用者延人数
居宅介護 160人
行動支援 20人
移動支援 20人
○ヘルパーステーションうすだ
利用者延人数
居宅介護 129人
移動支援 12人</td></tr>
<tr><td colspan="3">さく 収入 4,005,178円 支出 2,782,832円 収支差額 1,222,346円</td></tr>
<tr><td colspan="3">うすだ 収入 4,921,480円 支出 4,921,480円 収支差額 0円</td></tr>
</table>

52	**障害福祉サービス事業就労継続支援（B型）** **・臼田共同作業センター** **・浅科ふれあいホーム** 〔介護サービス課〕	障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練その他の効果的支援。	○臼田共同作業センター 開所日数　252日 延通所利用者数　4,444人 1日平均利用実績　17.8人 工賃収入　4,220千円 平均工賃月額　13,101円 ○浅科ふれあいホーム 開所日数　250日 延通所利用者数　4,681人 1日平均通所利用者数　18.7人 工賃収入　5,770千円 平均工賃月額　19,500円
	臼田　収入　34,221,103円　支出　37,557,728円　収支差額　△3,336,625円		
	浅科　収入　40,242,476円　支出　40,236,360円　収支差額　6,116円		

53	**介護予防・日常生活支援総合事業** 〔介護サービス課〕	生活機能や歩行能力等の低下が見られる高齢者に対して、日常動作訓練やリハビリ、栄養指導など、個人にあった介護予防指導。	ケアプランセンター、ヘルパーステーション及びデイサービスセンターで対応 事業№47・48・49事業対象者（総合事業）参照

施設管理運営拠点区分		
収入　78,690,591円　支出　80,242,151円　　収支差額　△1,551,560円		
事業№	事業名	事業概要・報告
54	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） 1、老人クラブの育成 2、高齢者の憩いの場所の提供 3、高齢者の趣味の会の育成 4、入浴施設の提供 ○利用状況 年間利用者数17,706人
	収入　13,229,983円　　支出　13,347,844円　　収支差額　△117,861円	
55	佐久市臼田老人福祉センター	老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） 1、老人クラブの育成 2、高齢者の憩いの場所の提供 3、高齢者の趣味の会の育成 4、入浴施設の提供 ○利用状況 年間利用者数2,980人
	収入　5,914,842円　　支出　6,140,543円　　収支差額　△225,701円	
56	佐久市望月老人福祉センター	指定管理（佐久市）期間　平成27年4月～平成32年3月 1、基本協定に基づく施設の管理 ○利用状況 年間利用者数5,387人 ○修繕等 浴槽の手摺設置工事
	収入　13,127,930円　　支出　13,569,424円　　収支差額　△441,494円	
57	佐久市福祉総合センター	各種相談、ボランティア活動、健康の増進、学習やボランティアグループの育成等に必要な会議室の提供を目的とする（自己所有） 1、ボランティアグループへの会場提供 2、各種講座の開催 3、安心コール事業 4、声の広報作成に関する録音室の貸出し 5、心配ごと・結婚相談事業 6、子育て支援グループへの会場提供 ○利用状況 年間利用者　9,664人
	収入　3,890,599円　　支出　4,047,356円　　収支差額　△156,757円	
58	佐久市臼田総合福祉センター あいとぴあ臼田	指定管理（佐久市）　期間　平成27年4月～平成32年3月 1、基本協定に基づく施設の管理 ○利用状況 年間利用者　65,536人
	収入　34,769,529円　　支出　34,977,256円　　収支差額　△207,727円	
59	浅科保健センター	指定管理（佐久市）　期間　平成25年4月～平成30年3月 1、基本協定に基づく施設の管理 ○利用状況 年間利用者　9,607人
	収入　4,061,475円　　支出　4,127,502円　　収支差額　△66,027円	
60	佐久市浅科生きがい活動支援センター	指定管理（佐久市　期間　平成27年4月～平成32年3月 1、基本協定に基づく施設の管理 ○利用状況 年間利用者　1,284人
	収入　3,129,620円　　支出　3,409,503円　　収支差額　△279,883円	
61	佐久市望月生きがいセンター	指定管理（佐久市）　期間　平成28年4月～平成31年3月 1、基本協定に基づく施設の管理 ○利用状況 年間利用者　205人
	収入　566,613円　　支出　622,723円　　収支差額　△56,110円	